

平成29年度 みゆき会病院 病院指標

注1) 10人未満の数値は「-」表示

注2) 全国の平均在院日数は、DPC対象病院の平成29年度データ

1. 年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	-	27	12	18	35	65	146	224	368	165

60歳以上の入院患者割合は85.2%です。他の急性期病院や地域の福祉施設と連携を行い、リハビリテーションにも力を入れています。

2. 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

■ 整形外科

DPCコード	診断群分類名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
070343xx97x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置2なし	63	25.65	17.28	0.00%	69.83
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 手術なし 副傷病名なし	61	49.41	19.94	0.00%	79.23
160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	54	54.13	27.09	11.11%	85.54
070370xx99xxxx	脊椎骨粗鬆症 手術なし	43	59.53	22.44	2.33%	83.02
070343xx01x0xx	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。) 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は 多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定等 手術・処 置2なし	35	22.26	21.70	0.00%	62.89

整形外科では、脊柱管狭窄症に対する手術治療を最も多く行っています。次いで、胸椎・腰椎骨折の保存治療、大腿骨頸部骨折に対する手術治療を多く行っています。急性期の治療後、地域包括病床や回復期リハビリテーション病棟に移り、在宅復帰を目指したりリハビリテーションを行う患者さんも多いため、平均在院日数が全国平均よりも長くなっています。大腿骨頸部骨折では近隣の精神科病院からの患者さんを受け入れ、治療後は元の病院に戻られるため、他の疾患よりも転院率が高くなっています。

■ 内科

DPCコード	診断群分類名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置2なし 副傷病名なし	45	40.53	20.83	0.00%	87.29
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 内視鏡的 大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病名なし	40	2.93	2.68	0.00%	67.25
160650xx99x0xx	コンパートメント症候群 手術なし 手術・処置2なし	24	94.29	23.78	12.50%	83.46
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置1なし 手術・処置2なし 副 傷病名なし	18	56.72	17.71	0.00%	87.94
040040xx99000x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置1なし 手術・処置2 なし 副傷病名なし	15	49.20	14.60	0.00%	85.73

内科では、地域の福祉施設や在宅の患者さんの誤嚥性肺炎が最も多くなっています。次いで、大腸ポリープの内視鏡による切除術、肺炎などの治療後の廃用症候群のリハビリテーションなどを主に診療しています。地域包括病床や回復期リハビリテーション病棟などで在宅復帰を目指します。施設入所待ちや在宅療養が困難な患者さんなどは、療養病棟に移り療養を継続する場合もあるため、平均在院日数は全国平均よりも長くなっています。

3. 初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	-	1	7
大腸癌	-	-	-	-	-	-	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	-	-	10	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	7

※ 1: UICC TNM分類, 2: 癌取り扱い規約

当院における5大癌の初発並びに再発患者数はほとんどが10人未満となっています。当院では主に肺および消化器系の癌の二次治療や経過観察を行っています。

4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等

重症度	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	15	23.60	84.47
重症	-	-	-
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

市中肺炎とは、普段の社会生活の中にかかる肺炎のことです。当院は施設入所中や入院中に肺炎を発症する患者さんの治療が多く、市中肺炎はあまり多くありません。

5. 脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均 在院日数	平均年齢	転院率
-	-	-	-	-

当院では、脳梗塞の後遺症に対するリハビリテーションの患者さんが多く、脳梗塞の患者数は10人未満となっています。

6. 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓形成)	96	4.26	21.10	1.04%	67.83
K0461	骨折観血的手術(大腿)	46	3.57	53.00	10.87%	85.59
K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(後方椎体固定)	39	2.67	22.26	0.00%	62.67
K142-21	脊椎側彎症手術(固定術)	27	7.96	47.37	3.70%	50.74
K0821	人工関節置換術(膝)	25	2.60	31.08	8.00%	77.48

整形外科では、脊椎の手術が上位を占めています。椎弓形成が最も多く、次いで大腿骨骨折手術、後方椎体固定の順になっています。椎弓形成では保存治療の後に手術を行うこともあり、成人の脊椎側彎症手術では先に脊椎固定術を行ったのちに側彎症の手術を行うという二段階の手術を取り入れているため、平均術前日数が他の手術よりも長くなっています。小児の側彎症の手術も積極的に行っており、山形県内の広い地域の患者さんを受け入れています。

■ 内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	39	0.92	1.00	0.00%	68.05
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	-	-	-	-	-
K0461	骨折観血的手術(大腿)	-	-	-	-	-
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	-	-	-	-	-
K0811	人工骨頭挿入術(股)	-	-	-	-	-

内科では、大腸ポリープの内視鏡による切除術を最も多く行っています。当院では原則2泊3日で行っております。

7. その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

当院における播種性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の患者数は10人未満となっています。